

## 第2章 各 論

### 第1節 自然環境の保全と創造

#### 1 生物の多様性の確保

##### (1) 野生生物の調査

本市の野生生物の調査は、昭和60年度(1985年度)、61年度(1986年度)の2か年にわたって実施し、63年(1988年)3月に教育委員会から「広島市の動植物－広島市稀少生物調査報告」として報告されましたが、その後は調査が行われていませんでした。

このため、環境影響評価の審査に活用するとともに、本市の各種政策への反映を図ることを目的に、平成10年度(1998年度)、11年度(1999年度)の2か年をかけて「広島市の生物調査」を実施しました。そして、その調査成果をまとめ、いわゆるレッドデータブックとして広く市民に公表して活用を図るため、「広島市の生物－まもりたい<sup>いのち</sup>生命の営み－」を平成12年(2000年)3月に作成しました。

この報告書は、本市における「絶滅」、「絶滅のおそれのあるもの」及び「環境指標種(自然環境を積極的に維持するうえで注目すべき種)」の生物の分布状況のほか、地域の自然についてのコラムなどを記載しています。

また、この調査結果の利便性の向上を図るため、地理情報と統合した「広島市野生生物検索システム」を構築しています。

平成18年(2006年)10月には、旧湯来町の合併に伴い、「広島市の生物(補遺版)」を作成しました。

表 9 各分類群の「絶滅」、「絶滅のおそれのあるもの」及び「環境指標種」の選定種数

分類群名	絶 滅	広島市の絶滅のおそれのあるもの				環境指標種	計	
		絶滅危惧	準絶滅危惧	軽度懸念	情報不足			
植 物	種子植物	8	28	36	11	9	15	107
	シダ植物	3	7	6		3	1	20
	コケ植物	1	8	4	1	9	2	25
	地衣類		6	1		3		10
	藻 類				1	3		4
	菌 類		6	15		2		23
群 落	1	5	8	3			17	
小 計	13	60	70	16	29	18	206	
動 物	哺乳類					10	1	11
	鳥 類		2		3	17	3	25
	爬虫類			2	1	2		5
	両生類			2			4	6
	淡水魚類		8	6	2			16
	昆虫類	6	8	11	6	2	23	56
	クモ類				2			2
	甲殻類		1	3	1			5
貝 類		1	4				5	
小 計	6	20	28	15	31	31	131	
合 計	19	80	98	31	60	49	337	

(注) 野生絶滅、多毛種は選定種がないため、巨樹は個体の指定がないため、示していません。

## (2) 身近な生物調査

現在、市民や市民団体において、身近な生物調査が行われています。

広島市環境サポーターネットワークと瀬野川水系生物研究所は、瀬野川水系において、平成4年(1992年)から平成15年(2003年)において水生生物の調査を行いました。その結果は、「瀬野川の水生生物」としてまとめられ、底生動物の出現種が15種以上あった箇所は、平成4年(1992年)では10箇所でしたが、平成15年(2003年)には31箇所となり、また、ホタルの保護活動等によりゲンジボタルが流域各地で見られるようになったと報告されています。広島環境サポーターネットワークではこの他に、太田川放水路や市内や周辺の河川を対象とした調査を実施しています。(177ページ(データ集)参照)

また、こども文化科学館では、平成13年度(2001年度)から平成18年度(2006年度)まで、全国10箇所の科学館と連携し、セミやタンポポ、鳴く虫等の調査を実施しました。(178ページ(データ集)参照)

なお、平成18年(2006年)には、旧湯来町の合併に伴い実施した広島市の生物の補完調査をもとに、「広島市の生物(補遺版)」を作成しました。

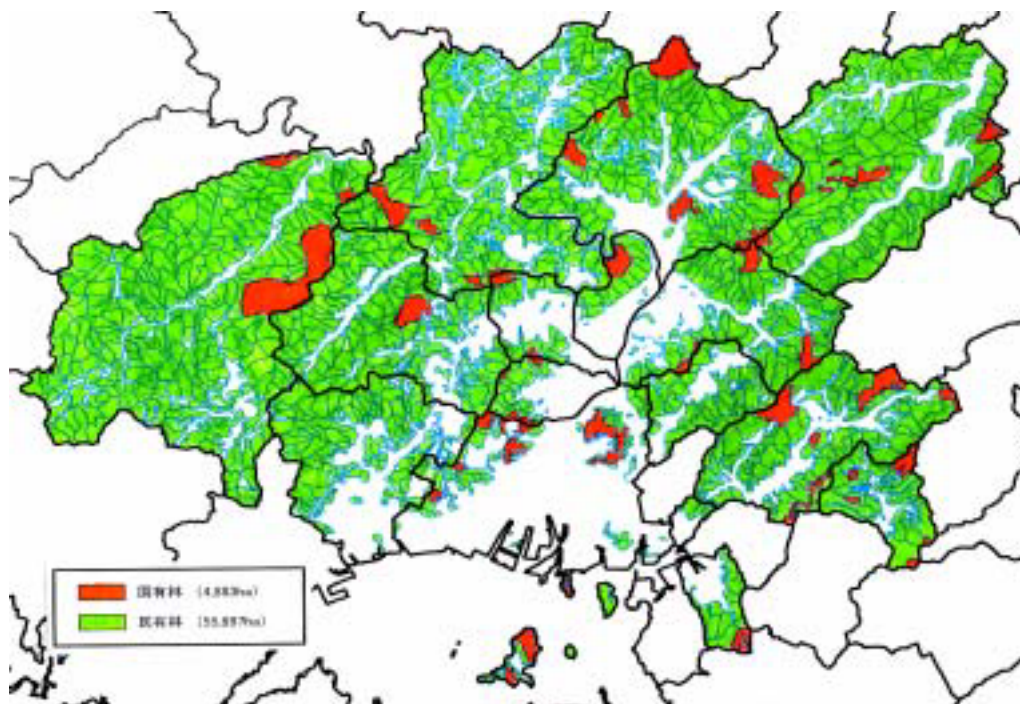
## 2 森林の保全及び適正な整備

### (1) 森林の概要

本市の森林面積は、平成15年(2003年)3月31日現在で、6万780ha(平成17年度(2005年度)に合併した旧佐伯郡湯来町の数値を含みます。)(市域の総土地面積の67.2%)です。このうち、民有林は5万5,897ha(総数の92.0%)で、国有林は、4,883ha(同8.0%)です。

また、民有林(5万5,897ha)のうち、天然林が3万4,424haで61.6%を占め、人工林が2万739haで37.1%を占めています。

図8 広島市の森林



資料：広島市経済局農林水産部

表 10所有形態別森林面積

単位：ha

区 分	国有林	民 有 林				合 計
	計	公有林	公団・公社	私有林	計	
中 区	0	1	0	1	2	2
東 区	192	671	0	1,181	1,852	2,044
南 区	100	3	0	145	148	248
西 区	201	28	0	381	409	610
安佐南区	558	186	0	6,070	6,256	6,814
安佐北区	1,933	1,453	768	22,468	24,689	26,622
安芸区	869	2,178	0	3,681	5,859	6,728
佐伯区	1,030	758	307	15,617	16,682	17,712
計	4,883	5,278	1,075	49,544	55,897	60,780

資料：太田川森林計画区地域森林計画書、国有林の地域別の森林計画書、平成15年(2003年)3月31日現在(平成17年(2005年)に合併した旧佐伯郡湯来町の数値を含む)

(注) 公有林とは、県、市町村、財産区有林をいいます。

表 11民有林樹種別面積

単位：ha

区 分	人 工 林					天 然 林			除地等	竹林	合計
	すぎ	ひのき	まつ	その他	計	まつ	その他	計			
中 区	—	—	—	—	—	—	2	2	—	—	2
東 区	61	225	197	0	483	665	678	1,343	18	8	1,852
南 区	—	—	4	1	5	20	113	133	3	7	148
西 区	1	7	8	10	26	106	257	363	12	8	409
安佐南区	675	883	150	16	1,724	3,239	1,204	4,443	53	36	6,256
安佐北区	3,065	4,830	849	119	8,863	7,428	8,105	15,533	209	84	24,689
安芸区	279	451	763	48	1,541	1,156	3,054	4,210	69	39	5,859
佐伯区	4,956	2,094	1,020	27	8,097	3,161	5,236	8,397	169	19	16,682
計	9,037	8,490	2,991	221	20,739	15,775	18,649	34,424	533	201	55,897

資料：太田川森林計画区地域森林計画書 平成15年(2003年)3月31日現在(平成17年(2005年)に合併した旧佐伯郡湯来町の数値を含む)

(注) 人工林のその他は、広葉樹221ha、天然林のその他は、広葉樹18,599ha、針葉樹50haです。

## (2) 森林の保全・整備

### ア 森林造成事業

森林所有者等が、市内の山林において行う人工造林等の森林施業に対して助成を行っています。(1～35年生の人工林が対象)

表 12森林造成事業の概要

単位：ha

区 分	実 績					計 画
	平成14年度 (2002年度)	15年度 (2003年度)	16年度 (2004年度)	17年度 (2005年度)	18年度 (2006年度)	19年度 (2007年度)
造 林	43.80	68.64	15.09	18.67	8.07	42
保育等	567.57	392.39	449.81	490.57	506.87	374

資料：広島市経済局農林水産部

(注) 1 造林は、人工造林と複層林(樹下植栽)で、特殊地拵(じごしらえ)は計上しません。

2 保育等は、下刈、雪起こし(実面積)、除伐、間伐、枝打ち、受光伐、複層林改良、鳥獣害防止施設。

3 平成18年度(2006年度)の計画事業量：造林21.00ha、保育等399.00ha

※地拵(じごしらえ)とは、木を植えるに当たって、植付けの障害となる笹、雑草、落枝等を刈り払ったり取り除く作業です。

### イ 森林機能保全間伐対策事業

複層林施業、長伐期施業など多様な森林の整備を行うため、国・県の補助の対象とならない36年生以上の人工林において、間伐を実施するために要する費用や、間伐の実施や間伐材の搬出のための作業道(巾員3～4m)、集材路(巾員2m)に対して助成を行っています。(事業期間：平成11年(1999年)～平成20年(2008年))

表 13 森林機能保全間伐対策事業の概要

区 分	実 績					計 画
	平成14年度 (2002年度)	15年度 (2003年度)	16年度 (2004年度)	17年度 (2005年度)	18年度 (2006年度)	19年度 (2007年度)
事 業 量						
間 伐 (ha)	50.0	40.0	28.0	30.0	30.0	70.0
作業道 (m)	200	241	190	150	150	500
集材路 (m)	—	—	—	—	—	—

資料：広島市経済局農林水産部

### ウ 市有林の整備

森林の有する多面的機能の向上を図りながら、森林施業のモデル展示林として林業の活性化に資するとともに市域の林業振興と森林整備の誘導を図ることを目的として、市有林の整備を行っています。

表 14 市有林整備事業の概要

区 分	実 績					計 画	
	平成14年度 (2002年度)	15年度 (2003年度)	16年度 (2004年度)	17年度 (2005年度)	18年度 (2006年度)	19年度 (2007年度)	
植栽(複層林) (ha)	1.12	—	—	—	—	—	
保 育 (ha)	下 刈	9.59	4.16	4.16	2.20	2.20	—
	除 伐	4.10	10.60	1.50	3.56	2.00	14.78
	間 伐	15.61	18.99	37.62	56.17	39.67	47.04
	枝 打	4.50	2.66	—	—	—	—
	つる切り	5.45	12.80	14.60	7.44	—	9.00
	枝払い	天然林改良 5.39	—	—	—	天然林改良 2.00	—
	計	44.64	49.21	57.88	69.37	45.87	70.82
作 業 道 整 備 (m)	作業道開設	100	100	100	100	100	100
	測量設計	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
	除 草	13,605	—	13,360	—	—	不定箇所
	維持補修	2か所	2か所	1か所	—	—	不定箇所

資料：広島市経済局農林水産部

### (3) 水源かん養機能の保全・増進

#### ア 市行造林・市行育林事業

水源かん養機能等の高い地域の放置森林を対象に、市が土地所有者に代わって造林・育林を行い、木材を売り払った時の収益を、市と土地所有者が一定の割合で分け合う事業を推進しています。

- ・市行造林…契約期間は100年間、  
分収割合は市：土地所有者＝6：4
- ・市行育林…契約期間は100年間から林齢を差し引いた期間、分収割合は契約時の林齢により適時変更



市行造林・育林地(安佐北区可部町大字綾ヶ谷)

表 15市行造林・市行育林事業実績

区 分		実 績					計 画
		平成 14 年度 (2002 年度)	15 年度 (2003 年度)	16 年度 (2004 年度)	17 年度 (2005 年度)	18 年度 (2006 年度)	19 年度 (2007 年度)
事業量	市行造林	4.56	7.78	0.00	0.00	0.00	0.00
	市行育林	9.69	7.25	9.84	20.00	11.93	15.00
	計	14.25	15.03	9.84	20.00	11.93	15.00

資料：広島市経済局農林水産部

#### イ 水源の森造成事業への参画

太田川水系の本市を含む14市町が一体となって水源地域における森林整備を行い、森林の持つ水源かん養機能や災害防止機能を高めることにより、水資源の確保を図っている財団法人広島県農林振興センターが行う水源の森造成事業に対して、事業費の負担を行っています。

○平成 18 年度(2006年度)事業費 4,498万 2 千円(広島市負担 906 万円)

○平成 18 年度(2006年度)末「水源の森」指定面積 22,273 件、22,625.76ha

○事業内容 企業の森の整備 2.0ha(モデル水源林を企業や漁連で整備)  
ふれあい水源林整備 1 か所  
小流域水源林整備 8.0ha  
森林整備 685.0ha(下刈、除伐、間伐、枝打等)

#### ウ 水源涵養モデル事業

太田川の豊かな清流を守り次世代に引き継いでいくため、平成10年度(1998 年度)に太田川の源である冠山が位置する源流域に森林を取得し、水源かん養機能の高いモデル水源林として整備するとともに、幅広い各層の住民参加による森林保全活動や森林・溪流とのふれあい等の体験・学習を通じて、水源かん養機能の重要性について啓発活動を実施しています。

この事業を円滑に推進するため、①市の関係部局で「広島市水源涵養モデル事業推進委員会」を、②広島県と下流域の水道事業体で「太田川流域水源涵養推進協議会」を、③森林所在地である廿日市市と「広島市・廿日市市源流の森保全協議会」を設置しています。

[森林の状況]

名称：太田川源流の森

場所：甘日市市吉和字吉和東 1558 番、1589 番 3

面積：355ha

表 16森林整備及び啓発活動参加者の状況

単位：ha、人

区 分		平成 14 年度 (2002 年度)	15 年度 (2003 年度)	16 年度 (2004 年度)	17 年度 (2005 年度)	18 年度 (2006 年度)
森 林 整 備	造 林	2.00	2.05	2.02	0.00	0.00
	保育等	25.71	34.70	38.96	37.82	42.17
	合 計	27.71	36.75	40.98	37.82	42.17
啓発活動の参加者数		1,055	997	1,159	1,057	1,073

資料：水道局企画総務課

#### (4) 市民参加の森林(もり)づくり

近年、水資源のかん養、良好な生活環境の保全、緑とのふれあいの場所の提供等、森林のもつ様々な公益的機能に対する市民の期待は非常に大きいものがあります。このため、平成 8 年度(1996年度)から、市民が森林づくりに自発的に参加できるような受け皿をつくり、緑とのふれあいを通して、森林・林業に対する認識を深めることを目的とした市民参加の森林づくりに取り組んでいます。

##### ア 「もりメイト」育成事業

森林に関する知識や林業技術習得のための講習会を開催し、安全かつ適切な森林整備活動及び市民参加の森林づくりを継続的に展開していくための先導的役割を果たすボランティアを育成しています。

##### イ みどりの里親制度事業

子どもたちの森林への親近感を醸成するため、自分で拾った種子の植付指導と里親登録を行い、子どもたちが苗木の「里親」として、苗木を家庭で育成し、再び山へ戻すまでの一連の作業をサポートしています。

##### ウ 里山整備事業

市民自らが、里山の整備に参加することで、山仕事の体験を通して、自然と人との係わり合いを学び、さらに整備した里山を利用することで、人と森との豊かな関係を体感し、森林や自然環境についての理解を深めます。

##### エ ボランティア間伐サポート事業

森林ボランティアによる森林整備を積極的に支援するため、森林の公益的機能の維持・増進に特に重要な森林作業であり、より高度な技術を必要とする「間伐」についての講習会を開催しています。



「もりメイト」育成事業(植林)



みどりの里親制度事業(植樹)



里山整備事業(伐木)



みんなで使おう間伐材

表 17市民参加の森林づくり事業 参加者数の推移

単位：人

区 分	平成 14 年度 (2002 年度)	15 年度 (2003 年度)	16 年度 (2004 年度)	17 年度 (2005 年度)	18 年度 (2006 年度)
「もりメイト」育成事業	30 (応募 30) 修了者 25	30 (応募 86) 修了者 28	30 (応募 35) 修了者 29	32 (応募 40) 修了者 30	30 (応募 40) 修了者 28
みどりの里親制度事業	登録 349 植樹 27	登録 835 (応募 835) 植樹祭 143	登録 677 下刈 21 植樹祭 156	登録 507 下刈 15 植樹 309	登録 407 下刈 39 植樹 170
みどりの体験ツアー事業	一般 34 (応募 36) 少年団 46	一般 22 (応募 29) 少年団 52	一般 43 (応募 56) 少年団 54	—	—
里 山 整 備 事 業	3 回実施 303 (応募 510)	3 回実施 316	昆虫の里 3 回実施 102 竹林の里 2 回実施 38	昆虫の里 2 回実施 79 竹林の里 2 回実施 31	竹林の里 2 回実施 50
ボ ラ ン テ ィ ア 間 伐 サ ポ ー ト 事 業	14	16	50	12	11
そ の 他 開 催 事 業	—	—	みんなで使おう 間伐材 344	みんなで使おう 間伐材 111	みんなで使おう 間伐材 157 親ひのき子 ひのきの森 205
参 加 者 計	803	1,414	1,515	1,096	1,067

資料：広島市経済局農林水産部

### 3 水辺の保全・創造

自然度の高い水辺は、それ自体が貴重な自然であるとともに、数多くの生物の生息・生育地であることから、その保全及び生態系に配慮した創造に努めることとしています。

#### (1) 自然海岸、干潟及び藻場の現状

昭和30年代(1955年～)までは、広島市海域には太田川の河口を中心に広大な藻場・干潟が存在していましたが、昭和35年(1960年)以降、出島、草津沖、仁保沖、五日市沖など約600haの干潟が消失しました。

自然海岸延長は、平成8年度(1996年度)現在で13.41kmです。干潟については、過去に干潟造成が行われ、平成8年度(1996年度)現在の市域での干潟面積は約160haです。そのほとんどは河口域に形成されていますが、その底質の性状の悪化がみられます。

また、藻場については、平成8年度(1996年度)現在で藻場面積は約5万4,000㎡です。

なお、本市は、平成17年度(2005年度)現在で、3万3,612㎡の人工干潟及び5,036㎡の藻場造成を実施しています。

表 18市域の干潟面積(平成8年度(1996年度))

単位：ha

地 区	干潟面積	地 区	干潟面積	地 区	干潟面積
五日市	25.4	京橋・元安川	18.9	金輪島	8.5
八幡川	23.2	猿猴川	1.3	似 島	23.9
太田川放水路	24.0	元宇品	1.6	峠 島	1.5
天満川	14.8	海田湾	5.1	市域合計	161.8

資料：平成8年度(1996年度)漁業環境実態調査報告書

表 19市域の藻場面積(平成8年度(1996年度))

単位：㎡

藻場の種類	藻場面積	存在する地区
アマモ場	39,056	似島、出島、金輪島、元宇品、峠島等
コアマモ場	759	天満川、五日市
ガラモ場	13,580	商工センター、似島、峠島、金輪島等
市域合計	53,395	

資料：平成8年度(1996年度)漁業環境実態調査報告書

#### (2) 生態系に配慮した改修の実施

- ・河川環境の整備
- ・海浜環境の整備

→第2章第3節2 水辺空間の整備(101 ページ)



## 4 農地の保全

### (1) 農業生産基盤の整備等を通じた農地の保全

農地は、水源のかん養、自然環境の保全などの公益的機能を有しており、ほ場整備などの農業生産基盤の整備等を通じて、農地の保全に努めています。

表 20 農業生産基盤整備状況

区 分	実 績						計 画		
	平成 17 年度(2005 年度)			18 年度(2006 年度)			19 年度(2007 年度)		
	件数 (件)	事業量	事業費 (千円)	件数 (件)	事業量	事業費 (千円)	件数 (件)	事業量	事業費 (千円)
農道改良	31	1,106m	373,510	32	1,327m	261,969	39	2,034m	482,817
農道舗装	14	2,038m	18,290	16	1,556m	20,684	10	1,107m	20,600
水路改良	95	2,801m	326,977	94	3,495m	367,251	141	5,975m	470,920
ため池整備	1	—	7,350	2	—	10,310	1	—	9,700
ほ場整備	5	7.4ha	186,412	3	3.3ha	133,602	4	8.2ha	158,745
計		—	912,539		—	793,816			1,142,782

資料：広島市経済局農林水産部

### (2) 中山間地域等直接支払事業

耕作放棄地の増加等により水源かん養などの多面的機能の低下が特に懸念されている中山間地域等において、耕作放棄の発生を防止し、多面的機能の確保を図る観点から、平成12年度(2000年度)より、農業生産条件の不利を補正する中山間地域等直接支払交付金を交付しています。

### (3) 環境保全型農業の推進

生産・流通・消費の一本化による付加価値の高い農業を展開する中で、生産者と連携した消費者の理解と協力のもとに、自然生態系への配慮や環境にやさしい農法の開発・普及を進めるなど、環境保全型農業の育成を図っています。

[事業内容]

環境にやさしい農業の推進：検討会・現地調査の開催

未利用有機資源の活用：剪定枝堆肥、食堂残渣の活用促進

新技術・新素材の活用：農薬低減に向けての資材等活用実験

適正施肥・防除の推進：技術講習会の開催

## 5 自然とふれあうことのできる場や機会の確保

### (1) 自然とのふれあい施設

#### ア 森林公園

広島市森林公園は、市民が森林に親しみ、憩い、自然を観察し、あわせて林業に対する理解を深めることのできる施設として、また、学校教育活動の場として、東区福田町に平成元年(1989年)に開園しました。

[施設概要]

面積 約 378ha

施設 昆虫館、森林・林業体験施設、山城展望台、モノレール、ワンパク橋(吊橋)、ザイルクライミング、ターザンロープ、ハイキングの森等

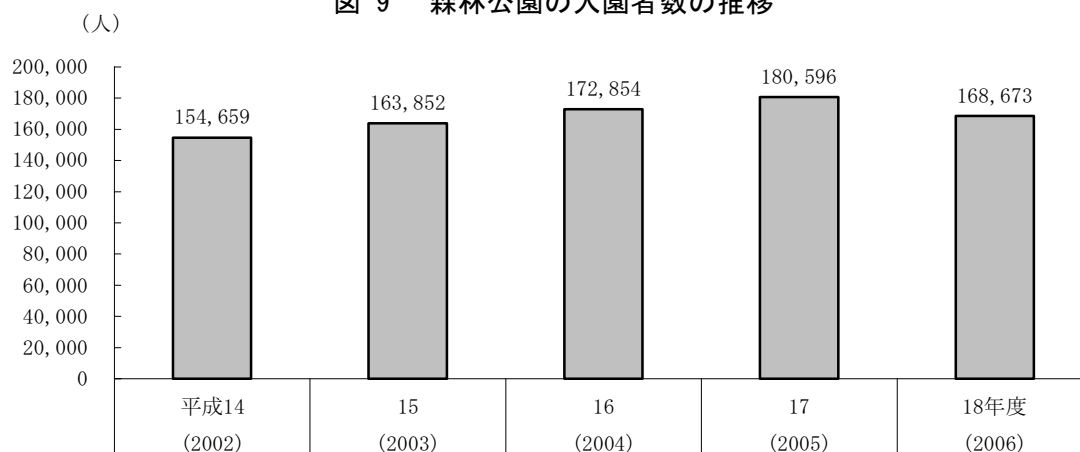


ワンパク橋(広島市森林公園)



昆虫館(広島市森林公園)

図 9 森林公園の入園者数の推移



資料：広島市経済局農林水産部

#### イ 安佐動物公園

広島市安佐動物公園は、そこでいきいきと暮らす動物たちの姿を通して人々の心に自然の認識や豊かな感性を育て、人と自然のかかわりを正しく理解することを目的に昭和46年

(1971年)、安佐北区安佐町に開園しました。

[施設概要]

面積 約 49.6ha(使用面積約 25.6ha)

施設 ヒヒ山、フラミンゴ池、ゾウ舎、ぴーちくパーク、はちゅうるい館、マレーバク舎、レッサーパンダ舎、動物科学館、ピクニック広場 等

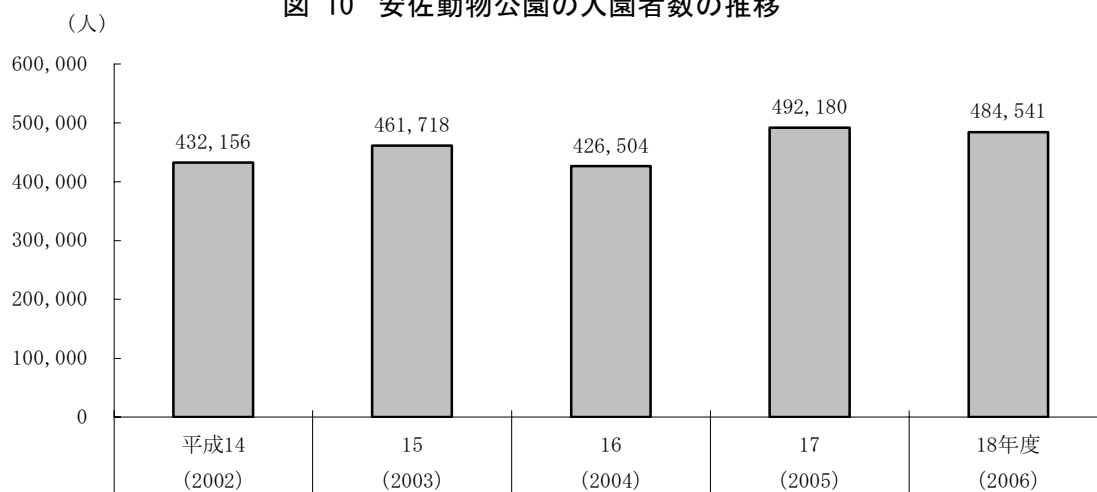


ヒヒ山(広島市安佐動物公園)



ぴーちくパーク(広島市安佐動物公園)

図 10 安佐動物公園の入園者数の推移



資料：広島市都市整備局緑化推進部

### ウ 植物公園

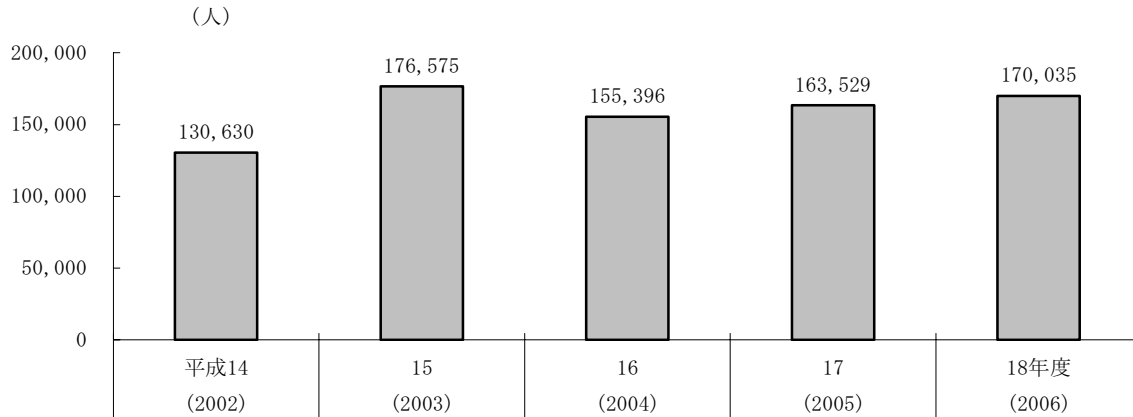
広島市植物公園は、国内外の多種・多様な植物を植栽して知的レクリエーションの場を提供し、展示・指導活動を通じ植物と人との関わりあいの理解を深め、自然保護の心を育てることなどを目的に、佐伯区倉重に昭和51年(1976年)に開園しました。

[施設概要]

面積 約 18.3ha

施設 大温室、熱帯スイレン温室、フクシア温室、展示温室、サボテン温室、ベゴニア温室、展示資料館、芝生広場 等

図 11 植物公園の入園者数の推移



資料：広島市都市整備局緑化推進部

エ 憩の森、ハイキングコース

市民が自然に親しみ、健康の増進を図る施設として、自然と調和のとれた憩の森(10か所)及びハイキングコース(15コース)を整備し、管理を行っています。



武田山憩の森(安佐南区祇園町)



木の宗山ハイキングコース(安佐北区深川町)

表 21ハイキングコース一覧

			単位：km		
場 所	コ ー ス 名	管理延長	場 所	コ ー ス 名	管理延長
東 区	舟ヶ谷	3.1	安芸区	原山～鉢取山	8.7
	二ヶ城山	5.1		絵下山	1.4
安佐南区	権現山～阿武山～太田川	5.9	佐伯区	窓ヶ山	2.7
	荒谷山	1.2		鈴ヶ峰	2.1
	竜王～畑峠	0.6		湯の山	3.0
安佐北区	木の宗山	4.0		丸子山	0.9
	野登呂山	2.1		阿弥陀山	6.9
	白木山	9.6			

資料：広島市経済局農林水産部

表 22 憩の森一覧

単位：ha

名 称	場 所	区域面積	施 設 の 概 要
菰 口	東区温品町	15.0	遊歩道、広場、休憩所、便所、駐車場等
鈴ヶ峰	西区井口町	7.6	遊歩道、広場、休憩所等
権現山	安佐南区緑井町	45.0	遊歩道、休憩所、便所、駐車場等
武田山	安佐南区祇園町	0.6	遊歩道、広場、休憩所、便所等
窓が山	安佐南区沼田町	25.0	遊歩道、広場、休憩所、便所、駐車場等
木の宗山	安佐北区深川町	43.9	遊歩道、藤棚、休憩所、便所、駐車場等
蓮華寺山	安芸区畑賀町・中野町	120.0	遊歩道、広場、休憩所、便所等
水谷峡	安芸区畑賀町	18.0	遊歩道、広場、休憩所、便所、駐車場等
鉾取山	安芸区中野東町・阿戸町	35.2	遊歩道、広場、休憩所、駐車場等
丸子山	佐伯区湯来町	0.3	遊歩道、広場、休憩所、便所、駐車場等

資料：広島市経済局農林水産部

### オ 市民菜園

遊休農地等を活用して、市民に農作業を通じて農業への理解を深めてもらうため、緑地とオープンスペースを確保し、コミュニティづくりの場として市民菜園を提供しています。

事業実施主体 農業協同組合

入園料 3,000 円/年・1 区画(16.5 m<sup>2</sup>)

表 23 市民菜園開園状況

(各年 9 月 1 日現在)

区 分	平成 11 年 (1999 年)	13 年 (2001 年)	15 年 (2003 年)	17 年 (2005 年)	18 年 (2006 年)
箇所数(単位：箇所)	95	99	102	100	98
区画数(単位：区画)	4,286	4,664	4,672	4,661	4,599

資料：広島市経済局農林水産部

### カ 市民農園

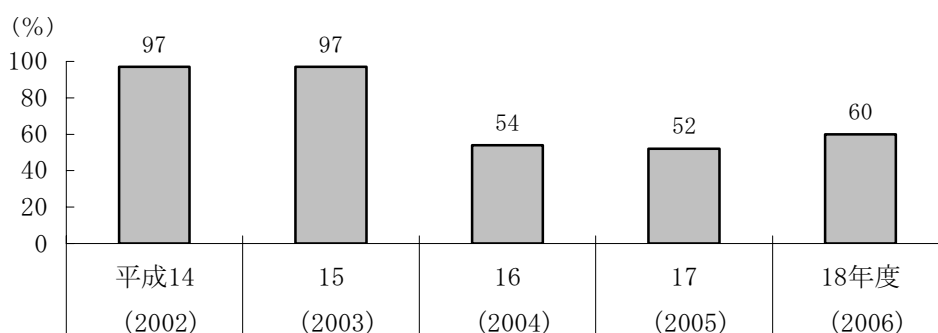
市民に農作物の栽培体験のための場等を提供することにより、市民の農業及び農村に関する理解を深めるとともに、健康的でゆとりのある市民生活の確保を図り、あわせて農村地域の振興に資するため、安佐北区白木町に市民農園を整備し、開園しています。

表 24 市民農園施設概要

名 称	場 所	区 画 数	使 用 料	
広島市三田 市民農園	安佐北区白木町大字三田	一般区画(50 m <sup>2</sup> )	106 区画	39,000 円/年・1 区画
		大型区画(100 m <sup>2</sup> )	2 区画	78,000 円/年・1 区画
		福祉区画(車椅子用フラット型)	4 区画	3,900 円/年・1 区画
広島市見張 市民農園	安佐北区白木町大字井原 ・大字小越	一般区画(50 m <sup>2</sup> )	173 区画	39,000 円/年・1 区画
		福祉区画(車椅子用フラット型)	5 区画	3,900 円/年・1 区画

資料：広島市経済局農林水産部

図 12 広島市市民農園の利用率(各年4月1日現在)



資料：広島市経済局農林水産部

(注) 平成16年度に見張市民農園が新規開園しました。

### キ 花みどり公園

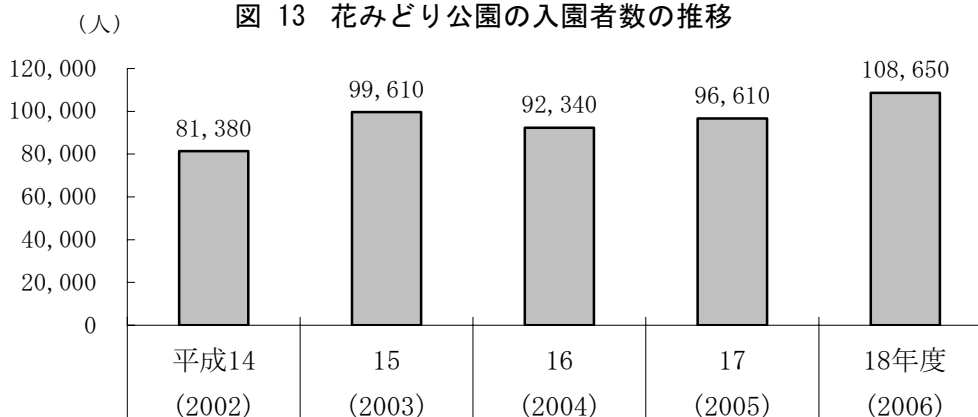
「花緑公園 ふれあいの里・三国」は、花木の生産振興を図るとともに、あわせて家族連れで自然に親しみ、その良さにふれることができるように、本市と旧広島安佐農業協同組合(現広島市農業協同組合)が共同で安佐北区安佐町に整備し、平成5年(1993年)に開園しました。

[施設概要]

面積 約16.9ha

施設 シャクナゲの国、わんぱくの国、バザールの国等

図 13 花みどり公園の入園者数の推移



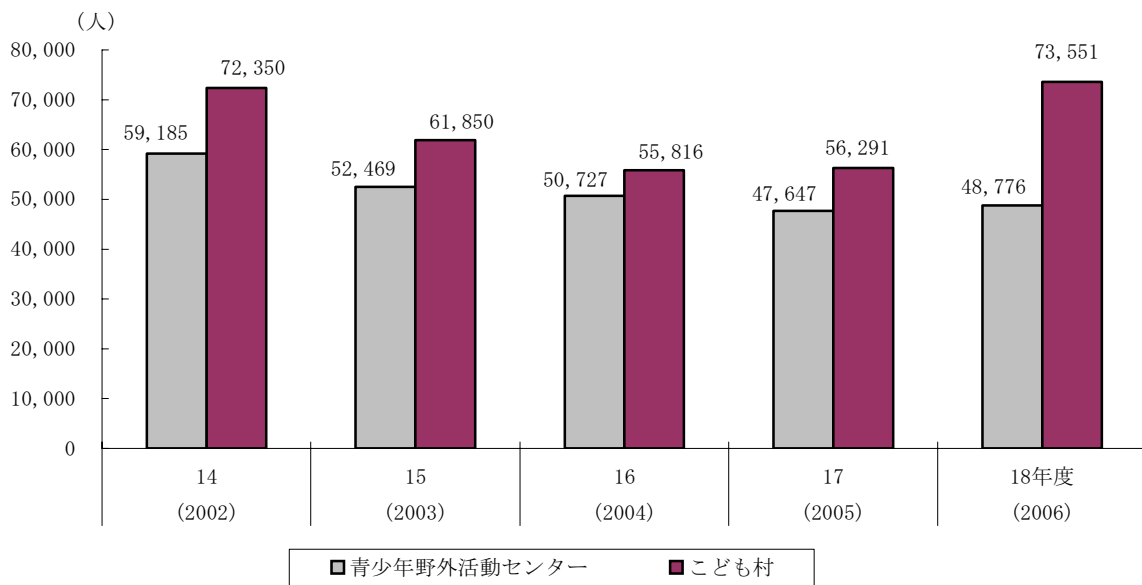
資料：広島市経済局農林水産部

### ク 青少年野外活動センター・こども村

青少年野外活動センターは、野外活動を通じて自然に親しむ機会を与えるとともに、集団生活を経験させることにより、活力のある健全な青少年の育成を図ることを目的に、昭和46年(1971年)10月に安佐北区安佐町に開所しました。77万㎡の広大な敷地に、宿泊棟、ロッジ、キャンプ場、体育館、グラウンドなどがあります。

また、併設するこども村は、子供たちが農業体験活動を通して農村や農業に対する認識を深めるとともに、自然観察・工作などの創作活動によって健康で情操豊かな子どもたちの育成に寄与する場として、昭和55年(1980年)6月に開村しました。研修センター、工作館、牧場、実習広場、果樹観察園、野鳥の森、こども広場などがあります。

図 14 青少年野外活動センター・こども村の利用状況の推移

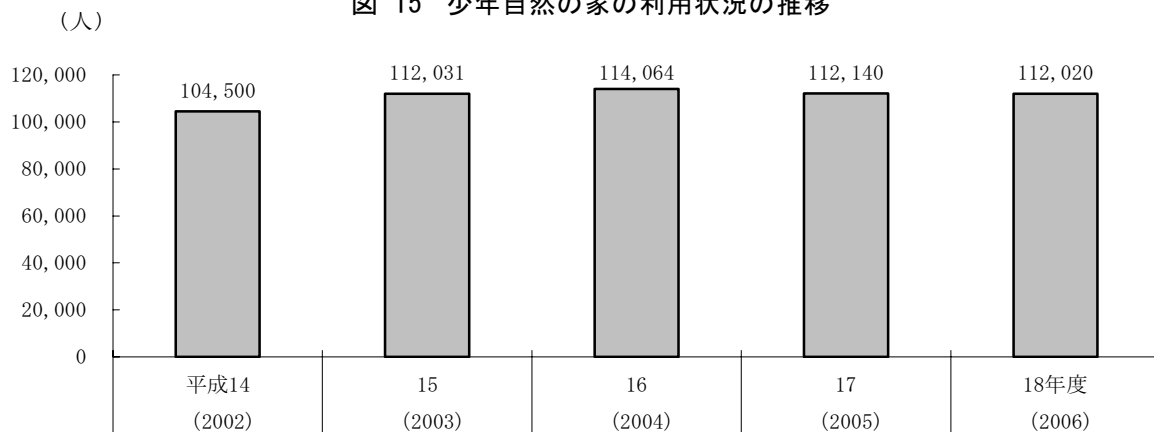


資料：広島市経済局農林水産部、同教育委員会青少年育成部

## ケ 少年自然の家

豊かな自然環境の中での集団生活を通じて健全な少年の育成を図るために、三滝少年自然の家及び似島臨海少年自然の家を設置しています。

図 15 少年自然の家の利用状況の推移



資料：広島市教育委員会青少年育成部

(注) 利用者数には、三滝少年自然の家に隣接するグリーンスポーツセンター分を含みます。

## (2) 自然とのふれあい事業

### ア 森林公園自然体験活動推進事業

広島市森林公園では、学校教育における「総合的な学習の時間」による小・中学生を対象にした「グリーンアドベンチャー」、「林業体験」、「昆虫の野外観察」など「自然体験活動事業」を実施しています。

表 25 森林公園自然体験活動推進事業の状況

(平成 18 年度(2006 年度))

区 分	開催日数(日)	開催回数(回)	学校数(校)	学級数(学級)	参加者数(人)
森林体験メニュー	41	41	25	104	3,255
昆虫体験メニュー	147	530	133	773	17,486
計	—	—	—	877	20,741

[実施内容]

森林体験メニュー

ネイチャークラフト、アウトドアクッキング、グリーンアドベンチャー、林業体験、落ち葉プール、巣箱づくり、鑑賞炭づくり、森の隠れ家づくり他

昆虫体験メニュー

昆虫博士になろう、昆虫で工作をしよう、昆虫の野外観察他



昆虫の野外観察



落ち葉プールづくり



グリーンアドベンチャー

イ 森林(もり)だくさん体験

広島市森林公園を活用した森林・林業体験学習等を通じて、市民が森林・林業に対する理解を深めるとともに、森林公園の管理等を支援する森林公園管理ボランティア「フォレストクラブ森守(もりもり)」の育成を図っています。

(7) 森林公園管理ボランティア育成事業

市民が森林公園において、森林・林業に対する理解を深めるための、下刈、整理伐、間伐、炭焼等の森林・林業体験学習講座を開催し、森林公園ボランティアとしての育成を図っています。

講座終了後、フォレストクラブ森守(もりもり)として登録を行い、園内の維持管理やイベント等のスタッフリーダーとして活動を行っています。



整理伐(ボランティア育成事業)

[平成 18 年度(2006 年度)実績]

フォレストクラブ森守登録者 98 名(平成 19 年(2007 年)3 月現在)

フォレストクラブ森守の活動 年 27 回 延べ参加者数 431 名

(イ) 森林・林業体験学習事業

小学生と保護者を対象とした「キッズフォレスターズスクール」や、一般の方を対象としたドラム缶を利用した炭焼教室等の講習会を行っています。



[平成 18 年度(2006 年度)実績]

キッズフォレストースクール

年 4 回、延べ参加者数 108 組 368 名

募集	60 組	200 名
応募	45 組	145 名
当選	45 組	145 名

講習会(炭焼教室等) 参加者数 56 名



キッズフォレストースクール  
(かくれ家づくり)

## ウ 里山あーと村の推進

平成 8 年度(1996 年度)から安芸区阿戸町にある市有林と阿戸町の農・自然・歴史・生活文化などの資源を活用して、地域住民と参加者が交流しながら、市民に豊かな里山体験の場を提供すると同時に、里山を再生し、阿戸の地域づくりにつなげることを目的に、地域住民・参加者・行政による運営協議会方式(平成13年(2001年)6月設立)で活動しています。

活動テーマ:「農」・「森」・「環境施設」の3つの活動テーマ

部 会:「やさいの会」、「そばの会」、「森づくり」、「ものづくり」、「ビオトープづくり」、「エコエネルギー研究会」の6部会

[平成 18 年度(2006 年度)実績]

開催回数:77回

参加延べ人数:2,666人



森のジャズライブ 2006



田植えと自然体験

## エ 魚貝類ふれあい事業

市民の親水レクリエーションの要望が高まり、安全で手軽に潮干狩りやアユ釣り等のできる場所の提供を求める声が強くなったことから、アユ、シジミ、アサリの放流を行い、もって自然保護及び環境保全意識の高揚を図っています。

[平成 18 年度(2006 年度)放流実績]

アユ:八幡川、瀬野川及び熊野川 80kg

シジミ:太田川放水路 1,903kg

アサリ:太田川放水路 1,550kg

## オ 安佐動物公園自然体験活動

広島市安佐動物公園では「自然体験活動」プログラムを始め、「動物レクチャー」「職場見学」「なかよし動物教室」などの教育プログラムを実施しています。

表 26安佐動物公園自然体験活動の状況

(平成 18 年度(2006 年度))

区 分	幼児のための なかよし 動物教室		動物レクチャー		職 場 見 学		合計 件数 (延べ)	合計 校数 (実数)	合計 人数 (実数)
	(校・園)	(人)	(校・園)	(人)	(校・園)	(人)			
幼・保育園	118	3,948	9	668	0	0	127	91	4,616
小学校	0	0	74	5,898	0	0	74	67	5,898
中学校	0	0	11	755	3	28	14	14	783
養護学校	0	0	8	244	0	0	8	7	244
高等学校	0	0	1	34	1	1	2	2	35
大学・専門学校	0	0	14	425	0	0	14	7	425
教員	0	0	3	36	0	0	3	3	36
その他	0	0	18	550	2	45	20	20	595
計	118	3,948	138	8,610	6	74	262	211	12,632

資料：広島市都市整備局緑化推進部

## カ 植物公園自然体験活動

小・中学校等における自然体験活動に対して、プログラムの提供及び実施活動を行いました。

表 27植物公園自然体験活動の状況

(平成 18 年度(2006 年度))

区 分	オリエンテーリング		植物教室・ガイド		その他の プログラム		合計校数 (実数)	合計人数 (実数)
	(校)	(人)	(校)	(人)	(校)	(人)		
小学校	5	1,440	0	0	8	409	9	1,591
中学校	1	107	0	0	1	107	1	107
養護学校	0	0	0	0	0	0	0	0
大学	0	0	0	0	1	8	1	8
その他	3	190	3	81	5	249	8	379
計	9	1,737	3	81	15	773	19	2,085

資料：広島市都市整備局緑化推進部

## キ 太田川流域振興交流会議

この会議は、太田川の清らかな流れを守り、豊かな恵みを次の世代へ伝えていくため、「太田川サミット宣言」に基づき、平成10年(1998年)4月に設立された会議で、太田川流域の7市町で構成し、水質環境保全に関する啓発活動などの事業を実施しています。

【構成市町(平成19年(2007年)3月末現在)】

広島市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、府中町、安芸太田町、北広島町 (計7市町)

【平成18年度(2006年度)実施事業】

○環境教育事業(学校間交流事業、子ども交流事業)

ボランティア団体との協働により、太田川流域のフィールドにおいて自然環境保全の大切さを学習する体験型プログラムを提供し、太田川の清流と豊かな自然環境の保全の大切さを次世代を担う子ども達に伝える事業を実施しました。

- ・ 龍頭峡森と川の体験(安芸太田町)
- ・ 秋のどんぐり村(北広島町)
- ・ 清流の家(北広島町)
- ・ 三段峡たんけん(安芸太田町)
- ・ 鷹ノ巣山林業体験(安芸高田市)
- ・ 雪山たんけん(廿日市市)
- ・ 湯来町水内川カヌー教室(広島市)
- ・ 西部リサイクルプラザ見学(広島市) など 参加者 1,467人



清流の家(北広島町)



鷹ノ巣山林業体験(安芸高田市)



湯来町水内川カヌー教室(広島市)



秋のどんぐり村(北広島町)

○ボランティア団体支援事業(水援隊登録制度)

河川環境保全活動を行うボランティアグループで、水援隊として登録したグループに対して、水生生物調査及び水質検査方法の講習や必要な検査キットの提供を行っています。

- ・ 平成18年度(2006年度)水援隊登録数 4グループ

## ク その他の取組(再掲)

- ・ 森林とのふれあい  
→ 第2章第1節2(4) 市民参加の森林(もり)づくり(24 ページ)
- ・ 自然とのふれあいを中心に据えた環境教育・学習  
→ 第2章第5節2 環境教育・学習の推進に掲げる関連事業(115 ページ)